

用水路への転落防止に

路面用の照明器具

大和クレス 大坂

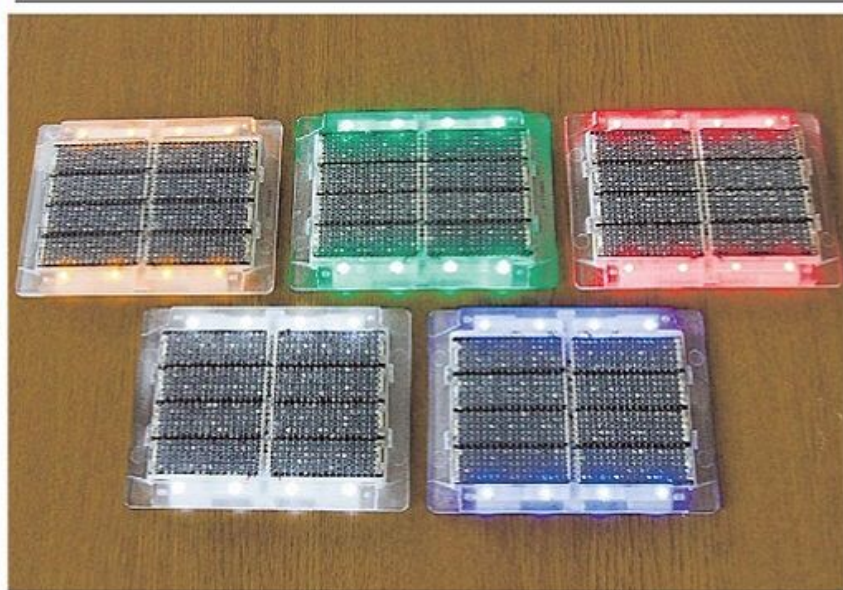
コンクリート2次製品製造の大和クレス(岡山市中区藤原西町)は、路面に貼り付けるタイプの照明器具の販売を始めた。岡山県内で多発している用水路への転落防止に役立つとして、水路のコンクリートブロックなどと併せて売り込む。照明器具は縦13・5センチ、横10センチ、厚さ9ミリ。主に官公庁への販売

を想定。販売代理店契約を結ぶ京都市の開発・製造元から調達し、初年度300個の販売を目指す。

岡山県は南部の干拓地を中心に用水路が張り巡らされ、自転車や

側溝には当社の製品が多く使われている。照明器具と組み合わせ、付加価値を高め、地域の安全・安心に貢献したい」と話している。

(久岡広和)



歩行者の転落事故が後を絶たない。大和クレスの仲間、泰輝社長は、「県内の用水路や大和クレスが販売を始めた路面用の照明器具